

## お米プロジェクト

### ～病院によるまちづくりの実践～

相澤 勝健<sup>1)</sup> 美原 玄<sup>1)</sup> 星野 郁子<sup>2)</sup> 大澤 直樹<sup>2)</sup> 糸井 克弥<sup>2)</sup> 美原 盤<sup>3)</sup>

1) 公益財団法人脳血管研究所 法人本部

2) 公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 栄養科

3) 公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 院長

[はじめに]地域包括ケアが推進されている中、病院はまちづくりの一端を担うことも期待されている。当院では地域の活性化、地産地消を目的に病院食として使用する米を取り上げ、「お米プロジェクト」を立ち上げた。

[取り組み]米は精米後から酸化が始まり、味が落ちる。「お米プロジェクト」は、地元農家から玄米を直接購入、院内で精米して病院食として提供する企画である。玄米の安定確保のための農家との契約、保冷庫、精米機の設置、さらに精米機の地域住民への利用促進を行った。

[結果]地元の米を病院食に利用する体制が構築された。ご飯の味に対する患者の満足度は、前年の 89%から 92%に向上した。米の納入価は約 120 万円/年削減、精米機は 456 kg/年地域住民に利用されていた。本プロジェクトに関する設備は 4.3 年で減価償却すると試算された。

[まとめ]病院によるまちづくりの実践として、「お米プロジェクト」は意義深いと思われた。